

## 第35回 ASPAC 台北大会

場所：台湾 台北市 中山樓 および 水美温泉会館

期日：2010年3月12日～14日

参加者：登録参加者 約700名

(うち、日本地区からの登録参加者78名、ゲスト19名)



行事：3月12日

### ① Ad Hoc Committee (因みに中国語では「專案委員会」)

昨年6月ナッシュビルの国際キワニス年次総会時にボランティア参加者により編成された上記委員会の第1回会合が第1日目の午前に関われ、その役割、位置づけ、運営方法等につき概ね次の通り合意し、役員会の承認を得たうえで活動を開始することを決定した。

- ・ 引続きボランティア組織の形態をとり、委員会の名称は“ASPAC Consultative Committee”(略称 ACC)とする。
- ・ 委員会は Chairman, Secretary のほか6名の委員で構成。月例電話会議等で議論する。
- ・ 主要検討事項は、ASPAC の法的位置づけ、機構改革、役員会のあり方、定款や大会運営手続等諸規約の見直し、資金管理(大会時の特別徴収金の活用を含む)、国際キワニスとの関係、など。
- ・ 次回集合会議：6月、ラスベガスでの国際キワニス年次総会期間中に開催の予定。

### ② ASPAC 役員会

イ. 役員選挙立候補者紹介：ASPAC 議長に Mrs. Bette Eavestaff(ニュージーランド南太平洋地区元ガバナー)、REGION4 国際理事(2010-2013)に Dr. Su Wen-Pin (台湾地区元ガバナー)がそれぞれ立候補。他のポストへの立候補はこの時点では皆無。

ロ. 将来の ASPAC 大会開催地：次回2011年は Malaysia の Melaka で3月10-13日に開催することを確認。2012年は Sri Lanka の Colombo、2013年は日本の広島で開催の予定(いずれも日時未定)。2014年の立候補地はこの時点では皆無。

ハ. 国際役員(小田および Alan Penn 両氏)の発言：

- ・ 韓国が再び地区として認められたことを報告し、出席していた同地区ガバナーおよび次期ガバナーの尽力に感謝。
- ・ 第2次世界奉仕プロジェクト(Worldwide Service Project)の候補が3つに絞られている。最終決定はラスベガスで発表の段取りである。
- ・ 国際年次総会を6年に一度 ASPAC 地域で開催することに変更し、2014年開催地は釜山、シンガポール、マカオ、メルボルンの候補地の中から6月までに決める予定。
- ・ 新規入会者に関する国際キワニスへの初年度 FEE(既設クラブの場合)を現行の一律制(日本の場合50ドル)から入会月により逡減させる仕組み (graduated enrollment fee structure) に4月より変更することを検討中。この案によれば、例えば日本地区の場合、年度当初(10-11月)の\$42から、4月\$24、9月\$4という具合に逡減。

ニ. ACC の正式組成承認と関連決議：上記の Ad Hoc 委員会提案は国際キワニスの Vice Chairman を委員に加えるという修正を加えて上で正式承認された。関連して、国際キワニス事務局に預けてある ASPAC 所有資金\$19,174 を ACC が自ら運用管理するため適切な国の銀行(シンガポールは手続が煩雑らしいので避ける)に口座を設定する準備作業に取り掛かることが決定された。

### 3月13日

午後から台湾外務省や台北市政府代表等の来賓挨拶を含む開会式、夕刻から歓迎晩餐会が開催された。午後一番に予定されていた中山樓前花園での記念植樹は雨のため延期され、翌日晴天の下で無事実施された。



### 3月14日

① 総会(general business session)が午前の部、午後の部の2部制で行われ、各種挨拶、役員選挙、各地区ガバナーおよび国家代表報告等が行われた。

主要なスピーチ、選挙結果、決定事項等は次の通り。

#### イ. Paul Palazzo 国際キワニス会長のスピーチ

- ・ ASPAC 内の地区やクラブが世界の子ども達への奉仕活動、メンバー増強面で成し遂げた成果は実に見事である。しかし、その成功に自惚れて胡坐をかいてはいけぬ。気を抜くと直ちに衰退に向かう怖れがある。
- ・ この点で、我々は今年“Make Time to Make a Difference”というスローガンを唱えてきている。各々多忙ではあるが、何とかして、キワニスの大切な奉仕のための時間を見つけ出して欲しい。
- ・ 会長として任期の半分を終えたこの段階で次の4つの願いを申し上げたい。即ち、
  - a. クラブ新設への努力
  - b. クラブメンバー増強努力(新メンバー紹介数に応じて銅、銀、金のキーを与える“1-2-3 You Hold the Key”プログラムを目下推進中)
  - c. ラスベガス世界大会への積極的参加
  - d. キワニスファミリー(Key Club, Circle K, Builders Club 等)の強化、である。
- ・ どうか、世界最大の奉仕機構の一員として、従来にも増して、“Make Time to Make a Difference”することによりキワニスの“Grow For Service”に貢献されんことを切に希望する次第である。



#### ロ. 役員等選出

- ・ いずれのポストにも複数の立候補者が出なかったため、無投票で下記の通り選出された。

次期 Chairman : Bette Eavestaff (NZ・South Pacific District)

次期 Chairman Elect : Adeline Chan (Malaysia District)

次期 Vice Chairman : 立候補者がいないため当期の Belle Garcia (Philippine Luzon District)が任期の9月末までに所属地区の了解が得られた場合任務を継続する予定。

次期 Nations Representative: Judy King (Hong Kong) — Districtを構成していない諸国を代表する役員会メンバーで、定員3名中2名空席。

Region4 国際 Trustee (2010-2013) : Dr. Su Wen-Pin (Taiwan District)

- ・ なお、選挙後に次期 Chairman により次期 Secretary/Treasurer として Hwang Chia Sing (Malaysia) が任命された。

#### ハ. ガバナー報告

各地区からメンバー増強の現状、奉仕活動の力点、今後の展開方針等に関し順番にスピーチが行われ、日本からは小池ガバナーがパワーポイントを用いながら約7分に及ぶ活動状況報告を英語で行い好評を博した。台湾や韓国は自国語で読み上げ英語への逐語通訳がなされた。



- ② **総会終了後の友好晩餐会**では参加各地区がお国ぶりのパフォーマンスを披露し、盛り上がった。日本地区からは、バイオリン演奏に合わせて着物姿で踊る女性達を半被を着て手ぬぐいを持った男性などの大勢が囲みながら「さくらさくら」を合唱し、盛大な拍手喝采を浴び、この後行われた Award Presentation で最優秀 Outstanding Performance Award を受賞した。なお、同時に授与されたこの他の Awards の受賞地区は以下の通り。

International Friendship Award<大会への最高参加率>第一位・台湾（日本は第2位）

Outstanding Service Project Award<奉仕写真展示>第1位・マレーシア(日本は第3位)